

2-1 ビジネスライフ学科履修要項

1. 卒業要件

学生は卒業するためには、この要項に定められた要領で科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

履修すべき科目は次のように分かれ、修得すべき単位は総計66単位以上で、その内訳は次のとおりです。

コ ア ステージ	9 単位	
ベ ー ス ステージ	10単位以上	57 単位以上
ベースアップ ステージ	10単位以上	
キャリアアップ ステージ		
チャレンジ ステージ		
オ プ シ ョ ン (12 単 位 まで 組 入 可 能)		
総 計	66 単位以上	

2. 履修方法

(1) コアステージ

(9単位)

卒業までに、7科目9単位を履修し、単位を修得しなければなりません。

第1年次において「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「PC リテラシー」「基礎ゼミ」「専門ゼミⅠ」の5科目7単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

第2年次において「専門ゼミⅡ」「専門ゼミⅢ」2科目2単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。ただし、1年次の履修単位が少ない場合には「専門ゼミⅡ」「専門ゼミⅢ」の履修を認めない場合があります。

なお、「専門ゼミⅡ」「専門ゼミⅢ」は、原則として同じゼミを選択することになります

(2) ベースステージ

(10単位以上)

卒業までに、10単位以上を各自で選択履修し、単位を修得しなければなりません。

それ以外の科目も、卒業要件に含めることができます。卒業要件を満たすように自由に選択し履修することができます。

(3) ベースアップ

ステージ

(10単位以上)

卒業までに、10単位以上を各自で選択履修し、単位を修得しなければなりません。

それ以外の科目も、卒業要件に含めることができます。卒業要件を満たすように自由に選択し履修することができます。

- (4) キャリアアップ
ステージ 各自の勉学方針に基づいて、卒業要件を満たすように自由に選択し履修することができます。
- (5) チャレンジ
ステージ 各自の勉学方針に基づいて、卒業要件を満たすように自由に選択し履修することができます。
- (6) オプション 司書課程履修者が履修した司書課程科目、他学科科目、特別聴講制度や千葉経済大学との単位互換制度により取得した他大学科目の単位を12単位まで卒業要件に含めることができます。
- (7) ユニットと
グループ 開講科目は、「グループ」と「ユニット」にまとめてあります。
グループは、その中から自由に選んで履修することができます。
ユニットは、その中の科目をまとめて履修することで、その分野について効果的に学ぶことができます。自分の進路に合わせて、最適なユニットを組み合わせて選択しましょう。
- (8) 履修年次 1年次から開講される科目は、1・2年次で履修することができます。
2年次から開講される科目は、2年次で履修することができます。1年次は履修できません。
1年次で修得した科目は、2年次において履修することはできません。
- (9) 履修上限 1年間に履修できる科目の単位数の総合計は50単位までです。
(集中授業、司書課程科目、他学科科目、他大学科目は除く)
- 〔 科目の表記 〕 ビジネスライフ学科の開講科目では、科目名の最後に「A・B」(アルファベット)と「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(ローマ数字)の2種類の表記があります。
- 「A・B」(アルファベット)
どちらの科目からでも1科目のみでも履修できます。
- 「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(ローマ数字)
科目の内容から、段階を追って履修することが原則です。段階を追わずに履修する場合には、担当教員に相談のうえ履修してください。

ビジネスライフ学科 開講科目および履修方法一覧

()中の数字は単位数

区分	必修/ 選択必修	単位	グループ	1 年 次 ~	2 年 次
コア ステージ	必修	9	キャリアデザイン	キャリアデザインⅠ(2) キャリアデザインⅡ(2)	
			PCリテラシー	PCリテラシー(1)	
			ゼミナール	基礎ゼミ(1) 専門ゼミⅠ(1)	専門ゼミⅡ(1) 専門ゼミⅢ(1)
ベース ステージ	選択 必修	10 以上	人 文	歴史に親しむA(2)、歴史に親しむB(2) 地理に親しむA(2)、地理に親しむB(2) 文学に親しむA(2)、文学に親しむB(2) 色とコミュニケーション(2)	
			社 会	生活と法A(2)、生活と法B(2) 人間と社会A(2)、人間と社会B(2) 生活と地域の多様性(2) キャンパス心理学(2)	
			自 然	自然科学への招待A(2) 自然科学への招待B(2) ビジネスに活かせる生物学入門(2)	
			国際コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ(1) 英語コミュニケーションⅡ(1) ビジネス英会話(1) 映画で学ぶ英語表現(1) 韓国語入門Ⅰ(1)、韓国語入門Ⅱ(1)	
			スポーツ	スポーツ演習Ⅰ(1) スポーツ演習Ⅱ(1) 乗馬(1) ゴルフ(1)	
ベース アップ ステージ	選択 必修	10 以上	社会人基礎	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1) 社会人基礎力養成A(1) 社会人基礎力養成B(1) 情報と社会(2)	
			ビジネスキャリア	インターンシップ(2)	ビジネス法規Ⅰ(2) ビジネス法規Ⅱ(2) キャリアデザインⅢ(2)
			ビジネス基礎Ⅰ	経営学A(2) 経済学A(2) 基礎簿記Ⅰ(2)	
			ビジネス基礎Ⅱ	経営学B(2) 経済学B(2) 基礎簿記Ⅱ(2)	
			PC OfficeⅠ	コンピュータ実習Ⅰ(1) ビジネスコンピューティングⅠ(1)	
			PC OfficeⅡ		コンピュータ実習Ⅱ(1) ビジネスコンピューティングⅡ(1)

- ※ 卒業までに少なくとも76単位以上を取得することが望ましい。
- ※ 1年次から開講される科目は、2年次生においても履修することができる。
- ※ 1年次で修得した科目は、2年次において履修することはできない。

区分	必修/ 選択必修	単位	ユニット	1 年 次 ~	2 年 次	
キャリア アップ ステージ	選択	ビジネス 総合系	オフィスビジネス	ビジネス実務論(2)、ホスピタリティサービス(2)		
			ビジネス総合	観光ビジネスⅠ(2)、観光ビジネスⅡ(2)		
			マネジメント	マネジメント論(2) マーケティング入門A(2) マーケティング入門B(2)	経営データ分析Ⅰ(2) 経営データ分析Ⅱ(2)	
			秘書学	秘書学Ⅰ(2)、秘書学Ⅱ(2)		
		経済・金融系	エコノミクス	歴史からみる人間の経済A(2) 歴史からみる人間の経済B(2) ニュースで学ぶ現代経済A(2) ニュースで学ぶ現代経済B(2)		
			ファイナンス	金融論入門A(2)、金融論入門B(2) 証券実務(2)		
			ライフ プランニング	ファイナンシャル・プランナー入門(2) ファイナンシャル・プランニング演習Ⅰ(1) ファイナンシャル・プランニング演習Ⅱ(1)		
		簿記・会計系	生活と税金		生活と税金Ⅰ(2)、生活と税金Ⅱ(2)	
			簿記Ⅰ	簿記演習Ⅰ(2)、簿記演習Ⅱ(2)		
			簿記Ⅱ	応用簿記Ⅰ(2)、応用簿記Ⅱ(2) 原価計算Ⅰ(2)、原価計算Ⅱ(2)		
			アカウンティング	はじめての会計学Ⅰ(2) はじめての会計学Ⅱ(2)		
			ビジネスアプリ		コンピュータ会計Ⅰ(2) コンピュータ会計Ⅱ(2)	
		ファッション系	ファッション ビジネスⅠ	ファッションビジネス論Ⅰ(2) ファッション販売論Ⅰ(2)		
			ファッション ビジネスⅡ	ファッションビジネス論Ⅱ(2) ファッション販売論Ⅱ(2)		
			ブランドビジネス	ブランドビジネス論A(2) ブランドビジネス論B(2)		
			色彩	色彩学Ⅰ(2)、色彩学Ⅱ(2)		
			パーソナルカラー		パーソナルカラーⅠ(2) パーソナルカラーⅡ(2)	
		ホテル・ ブライダル系	ブライダルⅠ	ブライダル総論Ⅰ(2)、 ウェディングプランニングⅠ(1)		
			ブライダルⅡ	ブライダル総論Ⅱ(2) ウェディングプランニングⅡ(1)		
			ホテルビジネス	ホテルビジネスⅠ(1)、ホテルビジネスⅡ(1)		
		コンピ ュータ系	IT Basic	コンピュータ概論A(2)、コンピュータ概論B(2)		
			IT Advanced	情報セキュリティ(2) 情報ネットワーク(2)	情報システム概論(2) データベース概論(2)	
			グラフィックス		デジタルグラフィックA(2) デジタルグラフィックB(2) ビジュアル情報処理(2)	
			Web	Webサイト制作Ⅰ(2)、Webサイト制作Ⅱ(2)	Web サイトデザイン(2)	
			ビジネス プログラミング	プログラミング入門Ⅰ(2) プログラミング入門Ⅱ(2)		
			C言語 プログラミング	C言語プログラミングⅠ(2) C言語プログラミングⅡ(2)		
		チャ レン ジ ス テ ー ジ	選択	医療事務	医療事務(2)	医療秘書(2)
				トラベルプランナー	トラベル実務Ⅰ(1)、トラベル実務Ⅱ(1)	トラベル実務Ⅲ(1)
				公務員試験対策	公務員試験基礎講座(1) 公務員試験対策講座A(1)	公務員試験対策講座B(1)
				就職支援	自己表現講座(1)、SPI対策講座(1)	
				英検・TOEIC	英検・TOEIC対策講座(1)	
		シ ョ ウ ア フ	選択		司書課程の科目、他学科科目、他大学科目を、12単位まで卒業要件に含めることができます。	
卒業要件単位		総計	66単位以上			

ビジネスライフ学科開講授業科目表

配置欄の前は前期科目、後は後期科目、通は通年科目、数字は単位数

区 分	授業科目	担当者	単 位	配 置				ク ラ ス 数	備 考	
				第1年次		第2年次				
				必修	選択	必修	選択			
コ ア	キャリア デザイン	キャリアデザインⅠ	千代田真紀	2	前2				4	
		キャリアデザインⅡ	千代田真紀	2	後2				4	
	PCリテラシー	P C リ テ ラ シ ー	西川 篤志	1	前1				4	
	ゼ ミ ナ ー ル	基 礎 ゼ ミ	井 芹 康 統	1	前1				1	
			江 上 邦 博	1	前1				1	
			叶 多 泰 彦	1	前1				1	
			沢 谷 有 梨	1	前1				1	
			千代田真紀	1	前1				1	
			富塚 昌子	1	前1				1	
			長島 正浩	1	前1				1	
			西川 篤志	1	前1				1	
			柳 浦 恭	1	前1				1	
		専 門 ゼ ミ Ⅰ	井 芹 康 統	1	後1				1	
			江 上 邦 博	1	後1				1	
			叶 多 泰 彦	1	後1				1	
			沢 谷 有 梨	1	後1				1	
			千代田真紀	1	後1				1	
			富塚 昌子	1	後1				1	
			長島 正浩	1	後1				1	
			西川 篤志	1	後1				1	
			柳 浦 恭	1	後1				1	
		専 門 ゼ ミ Ⅱ	井 芹 康 統	1			前1		1	
			江 上 邦 博	1			前1		1	
			影山美佐子	1			前1		1	
			叶 多 泰 彦	1			前1		1	
			沢 谷 有 梨	1			前1		1	
			千代田真紀	1			前1		1	
			長島 正浩	1			前1		1	
			西川 篤志	1			前1		1	
			柳 浦 恭	1			前1		1	
専 門 ゼ ミ Ⅲ		井 芹 康 統	1			後1		1		
	江 上 邦 博	1			後1		1			
	影山美佐子	1			後1		1			
	叶 多 泰 彦	1			後1		1			
	沢 谷 有 梨	1			後1		1			
	千代田真紀	1			後1		1			
	長島 正浩	1			後1		1			
	西川 篤志	1			後1		1			
	柳 浦 恭	1			後1		1			

区分	授業科目	担当者	単位	配置				クラス数	備考
				第1年次		第2年次			
				必修	選択	必修	選択		
ベ ー ス	人文	歴史に親しむ A	高野 浩	2		後2		1	
		歴史に親しむ B	宗村 敦子	2		後2		1	
		地理に親しむ A	小笠原永隆	2		前2		1	
		地理に親しむ B	小笠原永隆	2		後2		1	
		文学に親しむ A	高野 浩	2		前2		1	
		文学に親しむ B	高野 浩	2		後2		1	
		色とコミュニケーション	沢谷 有梨	2		前2		1	
	社会	生活と法 A	松井美知子	2		前2		1	
		生活と法 B	松井美知子	2		後2		1	
		人間と社会 A	野中 洋志	2		前2		1	
		人間と社会 B	野中 洋志	2		後2		1	
		生活と地域の多様性	富塚 昌子	2		後2		1	
		キャンパス心理学	児玉 美希	2		前2		1	
	自然	自然科学への招待 A	井芹 康統	2		前2		1	
		自然科学への招待 B	井芹 康統	2		後2		1	
		ビジネスに活かせる生物学入門	朝川 毅守	2		後2		1	
	国際コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	柳浦 恭	1		前1		1	
		英語コミュニケーションⅡ	柳浦 恭	1		後1		1	
		ビジネス英会話	柳浦 恭	1		前1		1	
		映画で学ぶ英語表現	柳浦 恭	1		後1		1	
		韓国語入門Ⅰ	周 炫宗	1		前1		2	
		韓国語入門Ⅱ	周 炫宗	1		後1		2	
	スポーツ	スポーツ演習Ⅰ	松原 一夫	1		前1		2	
		スポーツ演習Ⅱ	松原 一夫	1		後1		2	
		乗馬	雨貝 太郎 高野 浩	1		1		1	春季集中
		ゴルフ	太田 陽介	1		1		1	春季集中
	ベ ー ス ア ッ プ	社会人基礎	日本語表現Ⅰ	西村 こと	1		前1		2
日本語表現Ⅱ			西村 こと	1		後1		2	
情報と社会			叶多 泰彦	2		前2		1	
社会人基礎力養成 A			富塚 昌子	1		後1		2	
			清野 博子						
			宮田 眞由美						
社会人基礎力養成 B			富塚 昌子	1		後1		2	
		宮近 香							
		豊田 祐子							
ビジネスキャリア		インターンシップ	影山美佐子	2		通2		2	
	下川 耕平								
	ビジネス法規Ⅰ	下川 耕平	2			前2	1		
	ビジネス法規Ⅱ	下川 耕平	2			後2	1		
キャリアデザインⅢ	千代田真紀	2			前2	1			

3
2
ビジネスライフ学科履修要項

区 分	授業科目	担当者	単位	配置				ク ラ ス 数	備 考
				第1年次		第2年次			
				必修	選択	必修	選択		
ベースアップ	ビジネス基礎Ⅰ	経営学 A	藤原 達也	2		前2		1	
		経済学 A	長島 正浩	2		前2		1	
		基礎簿記Ⅰ	並木 秀明	2		前2		2	
	ビジネス基礎Ⅱ	経営学 B	藤原 達也	2		後2		1	
		経済学 B	長島 正浩	2		後2		1	
		基礎簿記Ⅱ	並木 秀明	2		後2		2	
	PC OfficeⅠ	コンピュータ実習Ⅰ	西川 篤志	1		後1		3	
		ビジネスコンピューティングⅠ	西川 篤志	1		後1		2	
	PC OfficeⅡ	コンピュータ実習Ⅱ	井芹 康統	1			前1	2	
		ビジネスコンピューティングⅡ	井芹 康統	1			後1	2	
キヤリアップ	オフィスビジネス	ビジネス実務論	富塚 昌子	2		前2		2	
		ホスピタリティサービス	影山美佐子	2		後2		1	
	ビジネス総合	観光ビジネスⅠ	富塚 昌子	2		前2		1	
		観光ビジネスⅡ	富塚 昌子	2		後2		1	
	マネジメント	マネジメント論	塗茂 克也	2		後2		1	
		マーケティング入門A	松本 竜一	2		前2		1	
		マーケティング入門B	松本 竜一	2		後2		1	
		経営データ分析Ⅰ	村田 理子	2			前2	1	
	秘書学	経営データ分析Ⅱ	村田 理子	2			後2	1	
		秘書学Ⅰ	梶山 亮子	2		前2		2	
		秘書学Ⅱ	梶山 亮子	2		後2		2	
		エコノミクス	歴史からみる人間の経済A	宗村 敦子	2		前2		1
	歴史からみる人間の経済B		宗村 敦子	2		後2		1	
	ニュースで学ぶ現代経済A		栗沢 尚志	2		前2		1	
	ニュースで学ぶ現代経済B		栗沢 尚志	2		後2		1	
	ファイナンス	金融論入門A	石井 忠和	2		前2		1	
金融論入門B		石井 忠和	2		後2		1		
証券実務		松山 智彦	2		後2		1		
ライフプランニング	ファイナンシャル・プランナー入門	栗本 修己	2		前2		1		
	ファイナンシャル・プランニング演習Ⅰ	松山 智彦	1		1		1	夏季集中	
	ファイナンシャル・プランニング演習Ⅱ	松山 智彦	1		後1		1		
		栗本 修己							
	生活と税金	生活と税金Ⅰ	岩村 衛	2			前2	1	
生活と税金Ⅱ		岩村 衛	2			後2	1		
簿記・会計系	簿記Ⅰ	簿記演習Ⅰ	並木 秀明	2		前2		2	
		簿記演習Ⅱ	並木 秀明	2		後2		2	
	簿記Ⅱ	応用簿記Ⅰ	長島 正浩	2		前2		1	
		応用簿記Ⅱ	長島 正浩	2		後2		1	
		原価計算Ⅰ	長島 正浩	2		前2		1	
		原価計算Ⅱ	長島 正浩	2		後2		1	
	アカウンティング	はじめての会計学Ⅰ	岩村 衛	2		前2		1	
		はじめての会計学Ⅱ	岩村 衛	2		後2		1	
	ビジネスアプリ	コンピュータ会計Ⅰ	長島 正浩	2			前2	1	
		コンピュータ会計Ⅱ	長島 正浩	2			後2	1	

区 分	授業科目	担当者	単 位	配置				ク ラ ス 数	備 考	
				第1年次		第2年次				
				必修	選択	必修	選択			
キ ヤ リ ア ツ ブ	ファッション ビジネスⅠ	ファッションビジネス論Ⅰ	清水 晴美	2		前2		1		
		ファッション販売論Ⅰ	宮田真由美	2		前2		1		
	ファッション ビジネスⅡ	ファッションビジネス論Ⅱ	清水 晴美	2		後2		1		
		ファッション販売論Ⅱ	宮田真由美	2		後2		1		
	ブランド ビジネス	ブランドビジネス論A	松本 竜一	2		前2		1		
		ブランドビジネス論B	松本 竜一	2		後2		1		
	色彩	色 彩 学 I	沢谷 有梨	2		前2		2		
		色 彩 学 II	沢谷 有梨	2		後2		2		
	パーソナルカ ラー	パーソナルカラーⅠ	沢谷 有梨	2				前2	2	
		パーソナルカラーⅡ	沢谷 有梨	2				後2	2	
	ホ テ ル ・ ブ ラ イ ダ ル 系	ブライダルⅠ	ブライダル総論Ⅰ	宮田真由美	2		前2		1	
			ウェディングプランニングⅠ	山城由起子	1		前1		1	
ブライダルⅡ		ブライダル総論Ⅱ	宮田真由美	2		後2		1		
		ウェディングプランニングⅡ	山城由起子	1		後1		1		
ホテルビジネス	ホテルビジネスⅠ	桜井 正	1		前1		1			
	ホテルビジネスⅡ	桜井 正	1		後1		1			
ア ツ ブ	IT Basic	コンピュータ概論A	江上 邦博	2		前2		2		
		コンピュータ概論B	江上 邦博	2		後2		2		
	IT Advanced	情報システム概論	江上 邦博	2				前2	1	
		情報セキュリティ	江上 邦博	2		後2		1		
		情報ネットワーク	今野 将	2		後2		1		
		データベース概論	今野 将	2				前2	1	
	グラフィック ス	デジタルグラフィックA	阿部 文香	2				前2	1	
		デジタルグラフィックB	阿部 文香	2				前2	1	
		ビジュアル情報処理	森 健	2				前2	1	
	Web	Webサイト制作Ⅰ	江上 邦博	2		前2		1		
		Webサイト制作Ⅱ	江上 邦博	2		後2		1		
		Webサイトデザイン	森 健	2				後2	1	
ビジネス プログラミング	プログラミング入門Ⅰ	井芹 康統	2		前2		1			
	プログラミング入門Ⅱ	井芹 康統	2		後2		1			
C言語 プログラミング	C言語プログラミングⅠ	江上 邦博	2		前2		1			
	C言語プログラミングⅡ	江上 邦博	2		後2		1			
チ ヤ レ ン ジ	医療事務	医 療 事 務	土谷 富志子	2		通2		1		
			新岡 章子				1			
		医 療 秘 書	土谷 富志子	2				通2	1	
	トラベル プランナー	トラベル実務Ⅰ	加藤 俊明	1		後1		1		
		トラベル実務Ⅱ	加藤 俊明	1		後1		1		
		トラベル実務Ⅲ	加藤 俊明	1				前1	1	
	公務員 試験対策	公務員試験基礎講座	中村 敏彦	1		前1		1	「公務員試験対策A」	
		公務員試験対策講座A	中村 敏彦	1		後1		1	令和8年度入学生のみ	
		公務員試験対策講座B	中村 敏彦	1				前1	1 「公務員試験対策B」	
	就職支援	自己表現講座	千代田真紀	1		後1		1		
S P I 対策講座		西川 マキ	1		後1		1			
英検・TOEIC	英検・TOEIC対策講座	柳浦 恭	1		後1		1			

I. 卒業要件と履修方法 [初等教育コース・保育コース]

こども学科初等教育コース・保育コースを卒業するためには、以下のとおり定められた科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。その上で、初等教育コースの学生はⅡ、保育コースの学生はⅢにそれぞれ定められた免許状・資格の取得要件を満たせば、卒業と同時に免許状・資格が取得できます。

なお、初等教育コースの学生は、小学校教諭二種免許状・幼稚園教諭二種免許状のいずれかの免許状を取得して卒業することを原則とします。

また、保育コースの学生は、希望すればⅢ-4に定める要件を満たして幼稚園教諭二種免許状を取得できますが、保育士の資格取得を基盤とした上での取得です。

1. 卒業要件

履修すべき科目は次のように分かれ、修得すべき単位数は総計62単位以上で、その内訳は次のとおりです。

共通科目	一般教養科目	6 単位以上
	基礎科目	7 単位以上
専門教育科目		41 単位以上
自由選択科目		8 単位以上
総計		62 単位以上

2. 履修方法

(1) 共通科目 (13単位以上)

共通科目は「一般教養科目」「基礎科目」「その他の科目」からなっています。

① 一般教養科目(6単位以上)

卒業までに、「文章表現法」を含めて3科目6単位以上を選択履修し、単位を修得しなければなりません。

また、教員免許状を取得しようとする学生は、「法学(日本国憲法)」2単位を含めて修得する必要があります。

② 基礎科目(7単位以上)

初等教育コースは、1年次科目「スポーツ演習」「基礎演習」「英語コミュニケーション」、2年次科目「こども学原論」を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

保育コースは、1年次科目「スポーツ演習」「基礎演習」、2年次科目「こども学原論」「英語コミュニケーション」を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

加えて、教員免許状を取得しようとする学生は「教育情報処理」を、保育士資格を取得しようとする学生は「健康科学概論」を履修する必要があります。

③ その他の科目

必ず履修する必要はありませんが、興味に応じて修得すれば、その単位は自由選択科目として加算されます。

(2) 専門教育科目 (41単位以上)

専門教育科目は複数の領域に分かれています。卒業のためには、「こども学科開講科目表および卒業要件一覧[初等教育・保育コース]」に記載の専門教育科目を、領域を問わず41単位を修得すれば要件を満たします。なお、免許・資格の取得を目指しⅡ・Ⅲのいずれかの要件を満たして修得すれば、自動的に専門教育科目41単位以上の卒業要件を満たすこととなります。

免許状および資格の資格要件は、各コースで異なりますので、各自所属するコースの資格要件をよく理解して、履修してください。

なお、教員免許状、保育士資格のいずれも取得せずに卒業する場合は「専門教育科目」の区分に「ビジネスに関する科目」を加えることができます。それに際しては、必ず相談教員と相談の上、教務部に申告し、許可を得る必要があります。

(3) 自由選択科目 (8単位以上)

自由選択科目については、各自の勉学方針にもとづいて、共通科目・専門科目から自由に選択し、8単位以上を修得しなければなりません。

なお、司書課程履修者が履修した司書課程科目、他学科科目、特別聴講により修得した他大学の科目も自由選択科目の8単位に加算されます。

こども学科 開講科目表および卒業要件一覧〔初等教育・保育コース〕

()中の数字は単位数

区 分		単 位	第 1 年 次 科 目	第 2 年 次 科 目	備 考		
共通科目	一般教養科目	必修	2	文章表現法(2)			
		選択必修	4以上	文学(2)、歴史への旅(2)、社会学(2) 心理学(2)、数学(2)、生物学(2) 法学(日本国憲法)(2)*1		*1 幼小必修	
	基礎科目	必修	7	【初等教育コース】 英語コミュニケーション(2) 基礎演習(1)、スポーツ演習(2) 【保育コース】 基礎演習(1)、スポーツ演習(2)	こども学原論(2)		
		選択		健康科学概論(2)*2、教育情報処理(2)*1	こども学原論(2)、英語コミュニケーション(2)	*2 保育士必修 *1 幼小必修	
	その他の科目	選択		乗馬(1)、ゴルフ(1)			
専門教育科目	教科及び教科に関する科目	教科に関する専門的事項	選択	41以上	国語学概説(2)、数学概説(2) 自然科学概説(2)、社会科概説(2) 生活概説(2)、基礎音楽(1)、器楽Ⅰ(2) 基礎造形(2)、英語概説(2) 家庭科概説(1・2年共通)(2)	器楽Ⅱ(2)、基礎体育(1) 家庭科概説(1・2年共通)(2)	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			社会科指導法(2)、生活科指導法(2) 英語科指導法(2) 家庭科指導法(1・2年共通)(2)	国語科指導法(2)、算数科指導法(2) 理科指導法(2)、音楽科指導法(2) 図画工作科指導法(2)、体育科指導法(2) 家庭科指導法(1・2年共通)(2)	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項			こどもと健康(1)、こどもと環境(1) こどもと言葉(1)、こどもと表現(1)	こどもと人間関係(1)	
		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			保育内容演習Ⅰ(2) 保育内容演習Ⅱ(2)	保育内容演習Ⅲ(2)	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理(2)、教職概説(2)、教育心理学(2) 教育の制度と経営(2)、特別支援教育(2)					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動(2)			道徳教育(2)、教育方法Ⅰ(2)、教育方法Ⅱ(2) 総合的な学習の時間の指導法(2) ICT活用の理論と方法(1) 生徒指導及び進路指導の理論と方法(2) 幼児理解(2)、教育相談(2)		
	教育実践に関する科目	教育実習(5) 教職実践演習(小)(2)、教職実践演習(幼)(2) 教職実践演習(幼保)(2)					
	総合科目	文章表現演習(1) 公立採用試験演習Ⅰ(1) 音楽表現を楽しむ(1)、造形表現を楽しむ(1) 保育フィールドワーク(1)、小学校フィールド演習(1)			書道概説(2)、論文演習(1) 遊び指導法(2)、公立採用試験演習Ⅱ(1) ベビーシッターの実務と理論(2)		
	保育の本質・目的に関する科目	保育原理(2)、こども家庭福祉(2) 社会福祉(2)、社会的養護Ⅰ(2) 保育者論(2)			こども家庭支援論(2)		
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学(2) こどもの保健(2)、こどもの食と栄養(2)			こども家庭支援の心理学(2) こどもの理解と援助(2)		
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価(2) 乳児保育Ⅰ(2) 乳児保育Ⅱ(1)			保育内容総論(2)、こどもの健康と安全(1) 特別支援の教育と保育(2)、社会的養護Ⅱ(1) 子育て支援(1)、こども文化論(2)、幼児体育(1) レクリエーション概論(2)、レクリエーション実技(1) リトミックⅠ(1)、リトミックⅡ(1)		
	保育実習	保育実習ⅠA(2)、保育実習ⅠB(2) 保育実習指導Ⅰ(事前)(1)			保育実習指導Ⅰ(事後)(1) 保育実習Ⅱ(2)、保育実習Ⅲ(2) 保育実習指導Ⅱ(1)、保育実習指導Ⅲ(1)		
	自由選択科目	選択			8以上	共通科目・専門教育科目の中で、それぞれ所定の単位を越えて修得した科目、 キッズビジネスⅠ～Ⅳ・キッズビジネス実務体験・ドイツおもちゃ文化論、 および司書科目・他学科科目・他大学科目の中から8単位以上。	
総 計			62単位以上				

Ⅱ. 資格要件と履修方法 [初等教育コース]

小学校教諭二種免許状または幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする場合は、卒業に必要な単位を修得するとともに、次の要件を満たさなければなりません。

1. 共通科目

一般教養科目の「法学(日本国憲法)」2単位と、基礎科目の「教育情報処理」2単位を必ず選択して履修し、単位を修得しなければなりません。

2. 専門教育科目

「小幼免共通」科目のうち、「必修科目」の10科目21単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。なお、小学校で教育実習を実施予定の者は「教育方法Ⅰ」「教職実践演習(小)」(各2単位)を、幼稚園で教育実習を実施予定の者は「教育方法Ⅱ」「教職実践演習(幼)」(各2単位)を修得しなければなりません。

その上で、取得しようとする免許状により、以下の要件を満たしてください。

(1) 小学校教諭二種免許状を取得する場合

「小免」科目のうち、「必修科目」の8科目15単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

さらに、教科に関する専門的事項の「選択必修科目」7科目12単位から6単位以上を選択履修し、単位修得します。その際、「数学概説」「自然科学概説」(各2単位)2科目のうち1科目以上が含まれていなければなりません。小学校で教育実習を実施予定の者は11単位以上履修、修得することが望ましいです。

また、各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)の「選択必修科目」8科目16単位の中から6科目12単位以上を選択し、修得してください。ただし、「国語科指導法」「社会科指導法」(各2単位)の2科目から1科目以上、「算数科指導法」「理科指導法」(各2単位)の2科目から1科目以上、「音楽科指導法」「図画工作科指導法」「体育科指導法」(各2単位)の3科目から2科目以上を含めて履修し、修得しなければなりません。小学校で教育実習を実施予定の者は、14単位以上履修、修得することが望ましいです。

(2) 幼稚園教諭二種免許状を取得する場合

「幼免」科目のうち、「必修科目」の10科目15単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

なお、幼稚園で教育実習を実施予定の者は選択科目も履修、修得することが望ましいです。

(3) 小学校教諭二種免許状と幼稚園教諭二種免許状を同時取得する場合

小学校教諭二種免許状と幼稚園教諭二種免許状を同時に取得しようとする場合、前項の「(1)小学校教諭二種免許状を取得しようとする場合」と「(2)幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする場合」で指定されている要件を両方も満たさなければなりません。

3. 「教育実習」の単位修得について

(1) 履修資格

「教育実習」(5単位)は、事前・事後指導を含みます。実習先での現場実習は、2年次に本学が指定する期間・実習先で行います。

履修資格は、「千葉経済大学短期大学部こども学科教育実習規程」に基づきます。

(2) 履修条件

- 1) 教育実習に関わるすべてのガイダンス・説明会への参加が必要です。
- 2) こども造形教室に1回以上の参加が必要です。(指定された回の事前打ち合わせと当日の両方に参加して1回と数えます)
- 3) 小学校実習予定者は、1年次において、「小学校フィールド演習」の履修が必要です。
- 4) 以下に該当する者は、**教育実習の実施を翌年度に延期することになります。**
 - ① 教育実習が予定される前年度に、「教職概説」「基礎演習」の単位が修得できなかった者
 - ② 1年次に履修申告した卒業要件及び資格要件上の必修・選択必修の科目中、単位未修得の科目が6科目以上にわたった者
 - ③ 受講態度が好ましくない者、および日常の生活態度が良好でない者
 - ④ 教育実習の実施を延期された者で、教育実習が予定される前年度に履修申告した必修および選択必修の科目中、単位未修得の科目が半数以上にわたった者

また、教育実習が予定される年度の前期の出席状況が不良の者、教育実習で積極的に学ぼうとする意志がない者については、教育実習委員会の決定により、**教育実習の実施を取り消す場合があります**ので充分注意してください。

(3) 教育実習費

第2年次において、所定の期日までに教育実習費 40,000 円を納入しなければなりません。

4. 介護等体験

小学校教諭二種免許状を取得するためには、本学科の卒業・資格要件を満たすとともに、特別支援学校(2日間)と福祉施設(5日間)での、計7日間の介護等体験が必要となります。

介護等体験は原則として1年次に行います。また、介護等体験費として10,000 円を納入しなければなりません。

5. 他コースの科目

「こども学科 開講科目表および卒業要件一覧[初等教育コース・保育コース]」中の科目については、小学校・幼稚園の教員免許状の取得に必要な単位の修得を優先したうえで、履修することもできます。

こども学科（初等教育コース） 教員免許関係科目表および資格要件

（ ）中の数字は単位数

区分		単位	第 1 年 次 科 目	第 2 年 次 科 目	備 考					
共通科目	一般教養科目	必修科目	4	法学(日本国憲法)(2) 文章表現法(2)						
		選択必修科目	2以上	文学(2)、歴史への旅(2)、社会学(2) 心理学(2)、数学(2)、生物学(2)						
	基礎科目	必修科目	9	スポーツ演習(2)、基礎演習(1) 英語コミュニケーション(2) 教育情報処理(2)	こども学原論(2)					
専門教育科目	教育の基礎的理解に関する科目	必修科目	10	教職概説(2)、教育原理(2) 教育の制度と経営(2) 教育心理学(2)、特別支援教育(2)						
						道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4		教育相談(2) 【小学校実習生】教育方法Ⅰ(2)※ 【幼稚園実習生】教育方法Ⅱ(2)※	※小学校実習生は「教育方法Ⅰ」と「教職実践演習(小)」を、幼稚園実習生は「教育方法Ⅱ」と「教職実践演習(幼)」を履修すること。
							7		教育実習(5) 【小学校実習生】教職実践演習(小)(2)※ 【幼稚園実習生】教職実践演習(幼)(2)※	
	教育実践に関する科目	2		器楽Ⅰ(2)						
	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	必修科目	4	国語学概説(2)、英語概説(2)					
			選択必修科目	6以上	2以上 数学概説(2) 自然科学概説(2) 社会科概説(2)、生活概説(2) 基礎音楽(1)、基礎造形(2)	基礎体育(1)	小学校実習生は11単位以上が望ましい			
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	小免	選択科目			書道概説(2)※	※小学校実習生は履修すること			
			必修科目	2	英語科指導法(2)					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	小免	選択必修科目	12以上	2以上	社会科指導法(2)	国語科指導法(2)	小学校実習生は14単位以上が望ましい		
					2以上		算数科指導法(2) 理科指導法(2)			
					4以上		音楽科指導法(2) 図画工作科指導法(2) 体育科指導法(2)			
						生活科指導法(2)				
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	幼免	必修科目	9	特別活動(2)	道徳教育(2) 総合的な学習の時間の指導法(2) ICT活用の理論と方法(1) 生徒指導及び進路指導の理論と方法(2)				
					2		幼児理解(2)			
5					こどもと健康(1)、こどもと環境(1) こどもと言葉(1)、こどもと表現(1)	こどもと人間関係(1)				
6					保育内容演習Ⅰ(2) 保育内容演習Ⅱ(2)	保育内容演習Ⅲ(2)				
		2			保育内容総論(2)*					
	選択科目		上記以外の「こども学科開講科目表および卒業要件一覧 〔初等教育・保育コース〕」中の科目							
総計(卒業要件含)		小学校教諭二種免許状のみ 71単位以上 幼稚園教諭二種免許状のみ 62単位以上（専門教育科目3単位・自由選択科目6単位を含む） 小学校教諭二種免許状および幼稚園教諭二種免許状 86単位以上								

* 開講科目表中、「保育の内容・方法に関する科目」に分類

Ⅲ. 資格要件と履修方法 [保育コース]

保育士資格を取得しようとする場合、または保育士資格の取得と合わせて幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする場合は、卒業に必要な単位を修得するとともに、次の要件を満たさなければなりません。

1. 共通科目

保育士資格を取得しようとする場合は、一般教養科目の「法学(日本国憲法)」「文学」「歴史への旅」「社会学」「心理学」「数学」「生物学」(各2単位)の中から4単位以上を選択して履修し、基礎科目の「健康科学概論」(2単位)を必ず選択して履修し、単位を修得しなければなりません。

さらに、幼稚園教諭二種免許状を合わせて取得しようとする場合は、一般教養科目の「法学(日本国憲法)」(2単位)と、基礎科目の「教育情報処理」(2単位)も必ず選択して履修し、単位を修得しなければなりません。

2. 保育士資格を取得しようとする場合

区分「保育必修」から57単位、区分「保育選択必修」から9単位以上を、次の(1)(2)の要件にしたがって履修し、単位を修得しなければなりません。

(1) 保育必修科目 (57単位)

区分「保育必修」の科目中、必修科目34科目57単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

(2) 保育選択必修科目 (9単位以上)

区分「保育選択必修」の14科目22単位中、9単位以上を必ず選択履修し、単位を修得しなければなりません。

2年次の保育実習について、保育所での実習を希望する者は「保育実習指導Ⅱ」(1単位)と「保育実習Ⅱ」(2単位)を含めて履修し、単位を修得しなければなりません。施設での実習を希望する者は「保育実習指導Ⅲ」(1単位)と「保育実習Ⅲ」(2単位)を含めて履修し、単位を修得しなければなりません。

3. 「保育実習」の単位修得について

必修科目の「保育実習ⅠA」「保育実習ⅠB」は必ず履修・修得し、選択必修科目「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」は、2年次にいずれか1科目を履修・修得しなければなりません。本学が指定する期間・施設で、それぞれ2週間継続して行います。

(1) 履修資格

履修資格は、「こども学科保育実習規程」に基づきます。

(2) 履修条件

- 各保育実習に係る「保育実習指導Ⅰ(事前)」「保育実習指導Ⅰ(事後)」および「保育実習指導Ⅱ」「保育実習指導Ⅲ」を必ず履修し、単位を取得しなければなりません。
- こども造形教室に1回以上の参加が必要です。(指定された回の事前打ち合わせと当日の両方に参加して1回と数えます)
- 以下に該当する者については、保育実習を翌年度に延期することになります。
 - 「基礎演習」の単位が修得できなかった者
 - 保育実習に係る科目の履修資格について(内規)の条件を満たさなかった者
 - 受講態度が好ましくない者、および日常の生活態度が良好でない者

- ④ 保育実習が予定される学期の出席状況が不良の者
また、履修が許可されても学生生活の態度・状況が不良の者及び保育実習で積極的に学ぼうとする意志がない者については、保育実習委員会の決定により、**保育実習の実施を取り消す場合があります**ので充分注意してください。
- (3) 保育実習費 所定の期日までに1科目につき20,000円の保育実習費を納入しなければなりません。
- 4. 保育士資格と合わせて幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする場合**
- 保育士資格と合わせて幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする場合は、上記1. 2の保育士資格要件を満たしたうえで、次の要件にしたがって履修、単位修得しなければなりません。
- (1) 保育士資格要件の科目 共通科目の中から必ず「法学(日本国憲法)」(2単位)を含めて履修・修得するとともに、上記2. (2)の区分「保育選択必修」(9単位以上)の中に「器楽Ⅰ」「教育方法Ⅱ」「教育相談」の3科目を必ず含めて履修・修得しなければなりません。
- (2) 保育士資格要件以外の科目 共通科目および専門科目から、所定の2科目7単位を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。
なお、「教育実習」(5単位)の履修にあたっては、前記Ⅱ-[3. 「教育実習」の単位修得について] によりますので、留意してください。
また、[(2)履修条件] については、保育コースでは以下のとおりになります。
- 1) 教育実習に関わるすべてのガイダンス・説明会への参加が必要です。
 - 2) こども造形教室に1回以上の参加が必要です。(指定された回の事前打ち合わせと当日の両方に参加して1回と数えます)
 - 3) 以下に該当する者は、**教育実習の実施を翌年度に延期すること**になります。
 - ① 教育実習が予定される前年度に、「基礎演習」「保育者論」の単位が修得できなかった者
 - ② 「保育実習ⅠA」と「保育実習ⅠB」、「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」合計3科目6単位が修得できなかった者
 - ③ 受講態度が好ましくない者、および日常の生活態度が良好でない者
 - ④ 教育実習の実施を延期された者で、教育実習が予定される前年度に履修申告した必修および選択必修の科目中、単位未修得の科目が半数以上にわたった者
- また、教育実習が予定される年度の前期の出席状況が不良の者、教育実習で積極的に学ぼうとする意志がない者については、教育実習委員会の決定により、**教育実習の実施を取り消す場合があります**ので充分注意してください。
- 5. 他コースの科目** 「こども学科 開講科目表および卒業要件一覧[初等教育コース・保育コース]」中の科目については、保育士資格・幼稚園の教員免許状の取得に必要な単位の修得を優先したうえで、履修することもできます。

こども学科（保育コース） 保育士・教員免許関係科目表および資格要件

○ 保育士資格要件

()中の数字は単位数

区 分	系 列	単 位	第 1 年 次 科 目	第 2 年 次 科 目	備 考	
共通科目	一般教養科目	必修	2	文章表現法(2)		
		選択必修	4以上	文学(2)、歴史への旅(2)、社会学(2) 心理学(2)、数学(2)、生物学(2) 法学(日本国憲法)(2)		「法学(日本国憲法)」は 幼免必修
基礎科目	必修	9	スポーツ演習(2) 基礎演習(1) 健康科学概論(2)	こども学原論(2) 英語コミュニケーション(2)		
専門 教育 科目	保育の本質・目的に 関する科目	必修	16	保育原理(2)、教育原理(2)* 教育の制度と経営(2)* こども家庭福祉(2) 社会福祉(2) 保育者論(2) 社会的養護Ⅰ(2)	こども家庭支援論(2)	
	保育の対象の理解に 関する科目	必修	10	保育の心理学(2) こどもの保健(2) こどもの食と栄養(2)	こども家庭支援の心理学(2) こどもの理解と援助(2)	
	保育の内容・方法に 関する科目	必修	23	保育の計画と評価(2) 保育内容演習Ⅰ(2) 保育内容演習Ⅱ(2) こどもと健康(1)、こどもと環境(1)、 こどもと言葉(1)、こどもと表現(1)、 乳児保育Ⅰ(2) 乳児保育Ⅱ(1)	保育内容総論(2) 保育内容演習Ⅲ(2) こどもと人間関係(1) こどもの健康と安全(1) 特別支援の教育と保育(2) 社会的養護Ⅱ(1) 子育て支援(1)	
	保 育 実 習	必修	6	保育実習ⅠA(2) 保育実習ⅠB(2) 保育実習指導Ⅰ(事前)(1)	保育実習指導Ⅰ(事後)(1)	
	総 合 演 習	必修	2		教職実践演習(幼保)(2)*	
		選択 必修	6以上	器楽Ⅰ(2)*	教育方法Ⅱ(2)*、教育相談(2)* 器楽Ⅱ(2)* こども文化論(2)、幼児体育(1) レクリエーション概論(2) レクリエーション実技(1) リトミックⅠ(1)、リトミックⅡ(1)	「器楽Ⅰ」 「教育方法Ⅱ」 「教育相談」 は幼免必修
	保 育 実 習	選択 必修	3		保育実習Ⅱ(2)、保育実習Ⅲ(2) 保育実習指導Ⅱ(1) 保育実習指導Ⅲ(1)	Ⅱ(保育所)・Ⅲ(施設) いずれかを選択
総 計 (卒業要件含)		81 単位以上		* 開講科目表中、保育に関する科目以外に分類		

○ 幼稚園教諭二種免許状取得要件（保育コース）

1. 卒業・保育士資格要件の中から、「法学(日本国憲法)」「器楽Ⅰ」「教育方法Ⅱ」「教育相談」を含めて、要件を満たすように必要な単位を修得する。
2. その上で、次の専門科目の要件を満たさなければならない。

	区分	単 位	1年次	2年次	備 考
卒業・保育士資格要件以外に 取得するもの	必修	7	教育情報処理(2)	教育実習(5)	

IV. 卒業要件と履修方法 [キッズビジネスコース]

こども学科キッズビジネスコースを卒業するためには、以下のとおり定められた科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

1. 卒業要件

履修すべき科目は次のように分かれ、修得すべき単位数は総計62単位以上で、その内訳は次のとおりです。

共通 科目	一般教養科目	6 単位以上
	基礎科目	10 単位以上
専門教育科目		38 単位以上
自由選択科目		8 単位以上
総計		62 単位以上

2. 履修方法

(1) 共通科目 (16単位以上)

共通科目は「一般教養科目」「基礎科目」「その他の科目」からなっています。

① 一般教養科目(6単位以上)

卒業までに、「文章表現法」を含めて3科目6単位以上を選択履修し、単位を修得しなければなりません。

② 基礎科目(10単位以上)

1年次科目「英語コミュニケーション」「基礎演習」「キャリア演習」「スポーツ演習」「教育情報処理」、2年次科目「こども学原論」を必ず履修し、単位を修得しなければなりません。

③ その他の科目

必ず履修する必要はありませんが、興味に応じて修得すれば、その単位は自由選択科目として加算されます。

(2) 専門教育科目 (38単位以上)

専門教育科目は複数の領域からなっています。「必修科目」「選択必修科目」を次のとおり履修、修得したうえで、卒業要件を満たすように科目を選択し履修します。

① 必修科目

「必修科目」9科目17単位を選択履修し、単位を修得しなければなりません。

(3) 自由選択科目
(8単位以上)

**3. キッズビジネス
コースで取得可
能な資格**

② 選択必修科目

「教育原理」「教育心理学」「保育の心理学」「幼児理解」のうち2科目4単位以上、「保育原理」「こどもの理解と援助」のうち1科目2単位以上を選択履修し、単位を修得しなければなりません。

自由選択科目については、各自の勉学方針にもとづいて、共通科目・専門教育科目から自由に選択し、8単位以上を修得しなければなりません。

なお、司書課程履修者が履修した司書課程科目、他学科科目、特別聴講により修得した他大学の科目も自由選択科目の8単位に加算されます。

キッズビジネスコースで取得可能な資格として、司書資格、レクリエーション・インストラクター、リトミック指導資格があります。

履修方法は「V. その他の資格」によります。

こども学科 開講科目表および卒業要件一覧〔キッズビジネスコース〕

()中の数字は単位数

区 分		単 位	第 1 年 次 科 目	第 2 年 次 科 目	
共 通 科 目	一般教養科目	必修	2	文章表現法(2)	
		選択必修	4以上	文学(2)、歴史への旅(2)、社会学(2)、心理学(2) 数学(2)、生物学(2)、法学(日本国憲法)(2)	
	基礎科目	必修	10	英語コミュニケーション(2)、基礎演習(1) キャリア演習(1)、スポーツ演習(2) 教育情報処理(2)	こども学原論(2)
		選択		健康科学概論(2)	
その他の科目	選択		乗馬(1)、ゴルフ(1)		
専 門 教 育 科 目 (38 単 位 以 上)	ビジネスに関する科目	必修	17	キッズビジネスⅠ(2)、キッズビジネスⅡ(2) キッズビジネスⅢ(2)、キッズビジネスⅣ(2) キャリアデザインⅠ(2)、キャリアデザインⅡ(2)	キッズビジネスⅤ(2) キッズビジネス総合演習(1) ドイツおもちゃ文化論(2)
	教育の基礎的理解に関する科目	選択 必修	4以上	教育原理(2)、教育心理学(2)	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				幼児理解(2)
	保育の対象の理解に関する科目			保育の心理学(2)	
	保育の本質・目的に関する科目	選択 必修	2以上	保育原理(2)	
	保育の対象の理解に関する科目				こどもの理解と援助(2)
	指導法に関する科目 教科及び教科の専門的事項	選択		国語学概説(2)、数学概説(2)、自然科学概説(2) 社会科概説(2)、生活概説(2)、基礎音楽(1) 器楽Ⅰ(2)、基礎造形(2)、英語概説(2) 家庭科概説(1・2年共通)(2)	器楽Ⅱ(2)、基礎体育(1) 家庭科概説(1・2年共通)(2)
				各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科指導法(2)、生活科指導法(2) 英語科指導法(2)、家庭科指導法(1・2年共通)(2)
	領域及び保育内容の専門的事項	こどもと健康(1)、こどもと環境(1) こどもと言葉(1)、こどもと表現(1)		こどもと人間関係(1)	
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容演習Ⅰ(2)、保育内容演習Ⅱ(2)		保育内容演習Ⅲ(2)	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の制度と経営(2)、特別支援教育(2)			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動(2)		道徳教育(2)、総合的な学習の時間の指導法(2) 教育方法Ⅰ(2)、教育方法Ⅱ(2) ICT活用の理論と方法(1)、教育相談(2) 生徒指導及び進路指導の理論と方法(2)	
	総合科目	文章表現演習(1)、公立採用試験演習Ⅰ(1) 音楽表現を楽しむ(1)、造形表現を楽しむ(1) 保育フィールドワーク(1)、小学校フィールド演習(1)		書道概説(2)、論文演習(1)、遊び指導法(2) 公立採用試験演習Ⅱ(1) ペーパーシッターの実務と理論(2)	
	保育の本質・目的に関する科目	こども家庭福祉(2)、社会福祉(2) 社会的養護Ⅰ(2)、保育者論(2)		こども家庭支援論(2)	
保育の対象の理解に関する科目	こどもの保健(2)、こどもの食と栄養(2)	こども家庭支援の心理学(2)			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価(2) 乳児保育Ⅰ(2)、乳児保育Ⅱ(1)	保育内容総論(2)、こどもの健康と安全(1) 特別支援の教育と保育(2)、社会的養護Ⅱ(1) 子育て支援(1)、こども文化論(2)、幼児体育(1) レクリエーション概論(2)、レクリエーション実技(1) リトミックⅠ(1)、リトミックⅡ(1)			

3

3

こども学科履修要項

